

◆3/2在宅医療推進市民講座アンケートより

Q.あなたの在宅医療に対するイメージはどのようなものですか？

- ・病院で治療を終え自宅で死を待つ
- ・健康で老衰
- ・病気があっても家族に見守られながら生活したり、最期を迎える
- ・自分らしく最期を迎える
- ・自宅での看病は大変
- ・お金が必要以上にかかる
- ・希望はあるが、環境や費用の面で不安
 - … 一人暮らし、近くに親族がいない、老老介護になる、子供に負担がかかる
 - … 家族がいなくても在宅医療を受けられる環境が整っているのかわからない

Q.在宅医療に関する話を聞いて良かった点、感想

- ・どのように生き、どのような最期を迎えるかよくわかり、気持ちがはっきりとした。
- ・症例を聞き暗い気持ちになったが、家族やドクターの接し方を聞き在宅医療に対するイメージが明るくなった。
- ・今後の看取り図を提供し、患者と向き合ってくれるところが良かった。
- ・死をどのように迎えるか考える機会になった。
- ・身近に在宅医がいれば在宅で看取るという選択肢も増えるのでは。
- ・人間として自分らしく生きることの大切さを再確認した。
- ・その人らしい死に方、尊厳・権利擁護の再確認をした。

- ・受けたくない治療を受けずに自宅で往診してくれる、そして死亡診断書を書いてもらえるそんな世界が現実にあったんだと驚いた。健康に長生きし、そのような死を迎えたい。
- ・自分の希望通りの最期を送れることを知り、心配が少し軽くなった。
- ・死をポジティブに考えることができるようになった。

- ・自分自身が元気なうちに家族や自分の最期を迎えるための準備をしようと思った。
- ・自分の意思を早めに決めていかないとと思った。
- ・看取りの様子がわかり、自分でも検討したい。
- ・自分で選択するということ。延命をしないという思いが強くなった。子供にも意思をしっかりと伝えたい。
- ・健康なうちに話し合っておくことが大事。

○講座に関する意見

- ・このような機会がたびたびあるとよい。(一般)
 - ・田村先生の具体的な症例に基づく説明が感動的だった。
 - ・公演の時間が短かった。(行政)
 - ・地域振興局、ロコモ体操より、田村先生の話をもっと長く聞きたかった。(介護福祉従事者)
 - ・マイライフノートを早速記入したい。(行政)

 - ・ロコモ体操が良かった。
 - ・・・毎日体操を続けたい。
 - ・・・簡単な体操を教わり良かった。
- 高齢者にはラジオ体操は難しく、ゆっくり動く太極拳なども良いと思う。